

# 市政の執行状況

平成18年第2回市議会定例会が、6月1日から6月20日まで開催され、多田市長が開会初日に、3月から5月までの市政執行の概要について報告しました。その内容を「市民が主役 いきいき やしお」の実現を目指す、市基本構想の6本柱に分類してお知らせします。

## かいてき

### 新時代を支える 都市の形成

▼市民生活における快適な道路環境を維持するため、主要道路の路面清掃などの業務委託を5件発注。また、効果的な内水排除を図るため、市内排水機場のポンプおよび機械設備の点検業務委託を2件発注。

▼平成17年度に繰越明許費としました公共下水道工事について、早期完成を目指し鋭意、施工中。

▼市営住宅の宮田団地および大原団地1号棟、2号棟の手すり設置工事を発注するとともに、大原団地、宮田団地および大曾根住宅の空家4戸について、入居者を募集。

▼八潮南部3地区の仮換地指定率は、5月1日現在、西地区が91.6パーセント、中央地区が47.2パーセント、東地区が64.2パーセント。

▼八潮駅北口の共同利用街区の行政施設を含む住宅棟については、現在、10階立ち上がり部分の建築に着手。

▼高度地区決定に向け、より多くの意見をとり入れた原案を作成するため、市民および関係団体等に説明会を開催。

▼八潮市の景観まちづくりの指針となる「景観まちづくり基本計画」を市民の皆さんのご意見を伺いながら検討し、景観まちづくり審議会の答申を得て策定。

▼5月28日、景観啓発事業の一環として、市内の魅力を見学していただく「景観ウォッチング」を実施。



景観ウォッチング

▼5月28日、景観啓発事業の一環として、市内の魅力を見学していただく「景観ウォッチング」を実施。

また、工事では、南部地区を含めた配水管新設工事を2件、配水管布設替えおよび移設工事を2件発注。

## やすらぎ

### 心やすらぐ安全な 生活環境の形成

▼狂犬病予防注射を4月18日から27日までの8日間、市内15カ所で行った。また、5月12日には、環境衛生委員会総会を開催。

▼4月6日から15日までの10日間、全国春の交通安全運動を実施し、交通安全団体、関係機関の協力により、広報活動、街頭キャンペーン等を実施。

▼「国民保護に関する八潮市計画」の原案の作成に向けて、県と調整。

▼公園の美化を推進するため、25カ所の公園について、園内に設置してある「ごみ箱」を撤去。

また、市民の皆さんが公園や広場運動施設等を安全で快適に利用できるような各種管理業務委託を発注。

▼1月から4月までの火災発生件数は8件で、昨年の同時期と比較して3件減少。

救急出動件数は、1月から4月まで1069件で、そのうち交通事故が143件で昨年の同時期と比較して26件、交通事故は43件減少。

▼5月21日、消防署において、平成18年度の新入消防団員14人に対し、新入団員研修を実施。

▼4月から、ペットボルの分別収集を市内全集積所で実施するとともに、食品用白色トレイの拠点回収を市内13の公共施設等で実施。

▼5月28日、八潮市民美化運動推進協議会主催による、第17回ゴミゼロ運動を実施。

▼4月18日、民生委員推薦会を開催し、新たな候補者を県知事へ推薦。

▼4月3日、7カ所の市立保育所で入所式を行い、575人の児童が入所。

▼4月1日、八潮市知的障害者生活サポートセンター内に、障害者就労支援センターを設置。

▼5月1日、八潮市障害程度区分審査会を設置し、障害や保健、福祉の分野で学識経験を有する5人の方を、委員に委嘱。

▼4月から、介護予防普及啓発事業の一環として、老人福祉センターなどで、介護予防についての講話やパンフレットの配布を行うとともに、65歳以上の方には、生活機能や運動機能、口腔機能などについて「基本チェックリスト」に基づき、自己チェックをしていただくなど、要支援、要介護となる恐れの高い方を把握。

## ふれあい

### 明るく生きがいに みちた社会の形成

▼4月18日、第15回八潮市民まつり実行委員会が設立され、10月22日に開催することを決定。

▼5月20日、エイトアリーナにおいて、八潮市社会福祉協議会との共催による「第34回八潮市高齢者と障害者のスポーツの祭典」を開催。

▼生活保護世帯の自立を促進するため、4月1日付けで生活保護世帯就労促進指導員1人を委嘱。

▼民生委員、児童委員2人の退任に伴い、4月18日、民生委員推薦会を開催し、新たな候補者を県知事へ推薦。

▼4月3日、7カ所の市立保育所で入所式を行い、575人の児童が入所。

▼4月1日、八潮市知的障害者生活サポートセンター内に、障害者就労支援センターを設置。

▼5月1日、八潮市障害程度区分審査会を設置し、障害や保健、福祉の分野で学識経験を有する5人の方を、委員に委嘱。



高齢者と障害者のスポーツの祭典



第17回ゴミゼロ運動

## ちから

### 活気あふれる 産業の形成

▼雇用対策として、地域創成助成金制度の活用を促進するため、国が定める地域貢献事業の地域重点10分野に、市が定める重点分野として、飲食料点小売業、その他の小売業、一般飲食店の3分野を追加するとともに、「商工だより」に掲載し周知。

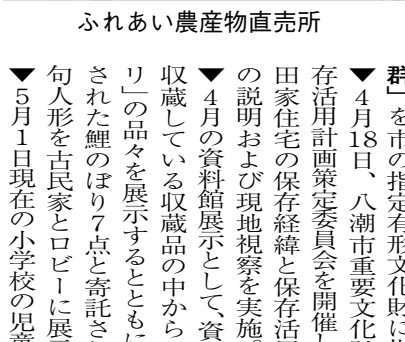
▼地産地消の推進を図るため、施設整備に対して支援をした「八潮市ふれあい農産物直売所」が、JAさいかつ八潮八條支店前に整備され開店。

▼市民の皆さんの健康の増進を図るため、5月9日に「シェイプアップアカビクス教室」を、5月11日には「エアロビクス教室」を開催。

▼4月1日付けで西袋の「小澤家観音群」を市の指定有形文化財に指定。

▼4月18日、八潮市重要文化財等保存活用計画策定委員会を開催し、和井田家住宅の保存経緯と保存活用計画の説明および現地視察を実施。

▼4月の資料館展示として、資料館に収蔵している収蔵品の中から「ハカリ」の品々を展示するとともに、寄贈された鯉のぼり7点と寄託された節句人形を古民家とロビーに展示。



ふれあい農産物直売所

## はぐくみ

### 明日の八潮を担う 人づくり環境の形成

▼5月16日、教育資金貸付審査会を開催し、1件の貸し付けを決定。

▼3月11日、「学習したことをまちづくりに活かそう」をテーマに、やしお市民大学の卒業記念講演および卒業式を行い、第2期生32人が卒業。また、新たに第4期学生を募集し、5月27日には、八潮メセナで入学式および始業式を行い、授業を開始。

▼4月23日、八潮市立図書館が実践している、子どもの読書意欲を高める活動が評価され、文部科学大臣は、「子どもの読書活動優秀実践図書館」として表彰。

▼市民の皆さんの健康の増進を図るため、5月9日に「シェイプアップアカビクス教室」を、5月11日には「エアロビクス教室」を開催。

▼4月18日、八潮市重要文化財等保存活用計画策定委員会を開催し、和井田家住宅の保存経緯と保存活用計画の説明および現地視察を実施。

▼4月の資料館展示として、資料館に収蔵している収蔵品の中から「ハカリ」の品々を展示するとともに、寄贈された鯉のぼり7点と寄託された節句人形を古民家とロビーに展示。

▼5月1日現在の小学校の児童数は、4588人(153学級)、中学校の生徒数は2115人(63学級)で児童・生徒総数は6703人(216学級)となり、昨年と比較すると児童・生徒数は74人の増加、学級数は昨年と同数。

やしお市民大学第4期生入学式

## すいしん

### 市民に開かれた計画的な 行政推進体制の形成

▼市と町会・自治会とのパイプ役として、市内43の町会・自治会へ「担当職員123人を配置し、3月から各町会・自治会の総会等に参加。

▼第3次八潮市行政改革大綱・八潮市行政改革集中改革プラン」を策定し、広報やしおおよびホームページで公表。

▼4月1日付けで、一般事務職4人、保育士2人、保健師2人、消防士3人の合計11人を新規採用。

また、埼玉県との人事交流として、新たに職員1人ずつを相互派遣し、引き続き県から職員1人を受け入れるとともに、職員3人を研修として派遣。さらに、近隣市町との人事交流として、三郷市から職員1人を受け入れ、越谷市に職員1人を派遣。

▼市民の利便性の向上と事務の効率化を図るため、戸籍業務の電算化の実施に向けて、戸籍のデータセットアップ作業を推進。

▼5月から、市県民税固定資産税・都市計画税、軽自動車税および国民健康保険税について、納税の利便性の向上を図るため全国の主なコンビニエンスストアで納付が可能。

▼5月1日現在の小学校の児童数は、4588人(153学級)、中学校の生徒数は2115人(63学級)で児童・生徒総数は6703人(216学級)となり、昨年と比較すると児童・生徒数は74人の増加、学級数は昨年と同数。

▼「小中一貫教育」について、4月24日に八潮北小学校、4月26日に八潮中学校、5月19日に八潮団地自治会、5月29日に入谷および和耕町会、5月30日に高木町会において、それぞれ説明会を実施。

▼5月1日現在の小学校の児童数は、4588人(153学級)、中学校の生徒数は2115人(63学級)で児童・生徒総数は6703人(216学級)となり、昨年と比較すると児童・生徒数は74人の増加、学級数は昨年と同数。

☎328